

〈アンケート調査〉岩見沢市内における新型コロナウイルス感染症の影響について

〈アンケート概要〉

- 実施期間： 令和2年3月8日（日）～3月15日（日） 7日間
- 調査方法： google フォームを使用した web 上のみ
<https://hiranoyoshifumi.jp/2020/03/08/12236>
- 回答数： 全国 160 名(内 岩見沢市 58 名／全国は主に YEG メンバーの協力による)
〈回答一覧は別紙参照〉
- 設問 (9 門)：◇性別 ◇年齢 ◇お住まい ◇職業 ◇受けている影響について (記述)
◇その影響により困っていること (記述) ◇その影響を解決するために必要、期待していること (記述) ◇その他 (記述) ◇連絡先等 (任意)
- 公開の方法：平野よしふみ web サイト、同 facebook・twitter で公開。
数名による Facebook のシェアにより拡散
- 回答の特徴：10代から60代までと幅広く、職業も会社役員、主婦、パート、学生、無職等々、業界団体や経済界等では抽出しきれない多様な意見が集まっている。
- 途中経過報告：3月11日現在での途中経過報告
<https://hiranoyoshifumi.jp/2020/03/12/12276>

〈回答の傾向〉

○家庭生活への影響は主に3つに分類される

- ①学校休校に伴うもの（預け先、学力低下等等）
- ②地域、イベント等（外出規制、感染の懸念、会議等の滞り等々）
- ③その他（マスク等の入手困難、家庭収入の減少等）

○事業的な影響は主に2つに分類される

- ①社会全体について（全体経済の低迷、日々の情報に翻弄）
- ②経営的影響（売上の減少、資金繰りの危機、資材納入の危惧、社内感染者の懸念等）

○今後に期待していることは3つに分類される

- ①生活、家庭全般(弱者への対応(妊婦含む)、子どもたちの屋外活動の推進、子どもの預け先、金銭的支援を公平に等)
- ②事業、経済について(融資では長期的に厳しいので補助・助成、フリーランスへの支援、国だけではなく市など自治体の独自支援、小さな経済を循環する意識付け等)
- ③社会全般他（事態の早期終息、メディアの煽り傾向ではなく正確な情報発信等）

○その他意見

デマへの対応として適切な情報発信が必要。

自助努力の推進と公共支援、BCPの重要性を痛感等々、多様な意見あり。

〈回答をベースにした考察〉

■今回は未知の事象ゆえ、報道の傾向により市民意見が翻弄されている。あらためて社会の不安、混乱、閉塞感を解消する正しい情報の発信と、将来展望の共有を政府に望む。特に将来展望として、covid-19は「指定感染症」とされているため、感染が判明すれば軽微な症状であっても入院隔離が必須で自宅療養ができないことから、今後の感染者増加の状況によっては医療崩壊は必然である。この対処において政府としてどのような計画があり、どのような展望をもっているかを事前に示す必要があるのではないか。

(その様な面において、このシンガポールの首相による発信はわかりやすい。)

<https://www.pmo.gov.sg/Newsroom/PM-Lee-Hsien-Loong-on-the-Novel-Coronavirus-nCoV-Situation-in-Singapore-on-8-February-2020>

■国民に求められるのは行政依存ではなく、自助、共助の気運を醸成することである。しかしそのためには、高い民意とそれらの動きをサポートする行政支援が必須と思われる。

■飲食店や観光業等はかなり厳しい状況。今後はそれらに関連する様々な業種に影響が及ぶことと想像されるが、特に規模の小さな事業所においては、融資だけでは二重苦となり今後の希望が失われる恐れがある。安易なばらまきを実施するわけにはいかないが、適切な支援を多面的に行うことが不可欠と考える。

■パート、アルバイト等の収入減少も深刻。子育て世帯以外にも休業補償は必要。また、奨学金に頼る等の厳しい状況下、アルバイトで生活費・活動費を捻出している学生もいる。今の状況はさらなる貧困を生み出す懸念があり、子育て世代のみならず、あらゆる階層において配慮する必要がある。

■あらためて全ての判断において、コモングッドの精神が不可欠。政治はもちろん、経済界においてもその指針を打ち出し、全体で持ち直していく必要があるのではないか。

〈最後に〉

この度のCOVID-19がもたらす影響は、企業業績の悪化はもとより、そこで働く人の雇用を含め、多くの経済的悪循環を発生させている。この解消には「命」と「経済」のバランスをどう取るかということに行き着き、そこには明確な指針が必要となる。まずはこの指針を確立し、その根拠を共有することが急務と考える。

また、現代社会にはあらゆる弱者が存在し、自助だけでは立ち行かない企業や人がいることを認識し、多面的な支援を速やかに実現する必要があると考えます。

令和2年3月16日

岩見沢市議会議員
平野義文

e-mail : info@hiranoyoshifumi.jp